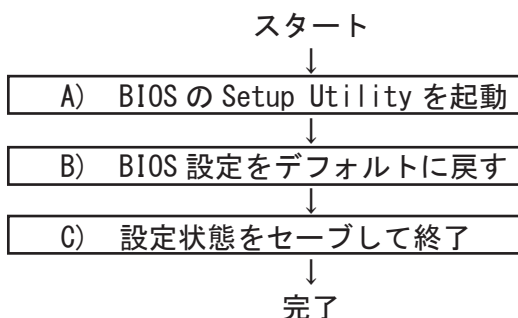


## BIOS 出荷時設定

BIOS 設定を工場出荷状態に戻す必要がある場合は、本書の手順に従って作業をおこなってください。BIOS 設定を変更されていない場合は、本書の作業は必要ありません。

BIOS 出荷時設定は以下の手順でおこないます。



### A) BIOS の Setup Utility を起動する。

パソコン起動時、またはリスタート時に「Esc」キーを何度か押してください。オプションメニューが表示されますので、「SCU」を選択してください。すると、「InsydeH20 Setup Utility」が起動します。

※

押すタイミングによってはオプションメニューが起動しない場合があります。その場合は、いったんコンピュータをリセットして再度実行してください。OS が起動してしまった場合は、OS から再起動してください。

### B) BIOS 設定をデフォルトに戻す

BIOS の Setup Utility 画面が表示されたら「→」キーで「Exit」タブに移動します。次に「↓」キーで「Load Optimal Defaults」を選び、「Enter」キーを押します。「Load Optimal Defaults?」と表示されますので「Yes」を選択後「Enter」キーを押します。BIOS 設定がクリアされ、デフォルトの状態になります。

### C) 設定状態をセーブして終了

設定変更後、「↑」キーで「Exit Saving Changes」を選択し、「Enter」キーを押します。「Exit Saving Changes?」と表示されますので、「Yes」を選択し、「Enter」キーを押します。この操作により、設定が保存され、再起動します。

## BIOS 設定書

### 付録) 代表的な BIOS 設定

本書では LT-HA10 の代表的な BIOS 設定について解説します。  
本文中 ▶ 印の部分は、「Enter」キーを押すことにより、詳細項目が表示されることを表しています。

#### 【操作方法】

- ・「←」「→」「↑」「↓」キーで変更箇所へ移動。
- ・日時設定は「Enter」キーで年月日、時分秒を移動して「+」「-」キー (US キーボード配置)、又は、テンキーで数値を直接入力に変更。
- ・設定を変更する場合は、変更したい項目へ移動して「Enter」キーを押すと、詳細が表示されるので「↑」「↓」キーで選択後「Enter」キーを押して確定。
- ・前の画面に戻る、選択をキャンセルする場合は「Esc」キーを押す。

## 【Main】メニューの設定

Main Advanced Security Power Boot Exit	
InsydeH20 Version	10APL TR02
UEFI Version	2.50
Product Name	ApolloLake X64
Build Date	XX/XX/XXXX XX:XX:XX ※1
Processor Type	Intel (R) Celeron(R) CPU N3450 @ 1.1GHz
System Bus Speed	100 MHz
System Memory Speed	1600 Mhz
Cache RAM	2048KB
Total Memory	4096 MB
Channel A - SODIMM 0	4096 MB
Channel B - SODIMM 0	[Not Installed]
Language	<English>
System Time	[hh:mm:ss]
System Date	[MM/DD/YYYY]

※1 : BIOS のリビジョンにより表記が異なります。

【Advanced > Boot configuration】メニューの設定

Advanced		
Boot Configuration		
Numlock	<On>	
State After G3	<S0 State>	※ 1
Hide BIOS Options	<Enabled>	

※ 1 : この設定を変更しても、AC power on を無効にはできません。

## 【Security】メニューの設定

Main	Advanced	Security	Power	Boot	Exit
Current TPM Device					<TPM 2.0 (FTPM)>
TPM State					All Hierarchies Enabled, Owned
TPM Active PCR Hash Algorithm					SHA1
TPM Hardware Supported Hash Algorithm					SHA1, SHA256
TrEE Protocol Version					<1.0>
TPM Availability					<Available>
TPM Operation					<No Operation>
PCR Bank: SHA1					[X]
PCR Bank: SA256					[]
Clear TPM					[]
Supervisor Password					Not Installed
Set Supervisor Password					※1
Power on Password					<Disabled> ※2

※1: BIOS の Set up Utility に入るためのパスワードを設定します。  
もし、設定したパスワードを破棄したい場合は、再度のこの項目を選択し、「new password」を空欄にしてパスワードを変更してください。

※2: この項目は「Set Supervisor Password」でパスワードを設定した後に表示されます。  
[Enabled] OS 起動時に Supervisor Password を要求されます。  
[Disabled] OS 起動時に Supervisor Password を要求されません。

【Power】メニューの設定

Main Advanced Security <b>Power</b> Boot Exit		
▶CPU Configuration		
Wake on LAN	<Enabled>	※1
Wake on RTC from S5	<Disabled>	※2
※1	[Enabled]	Wake on LAN 機能を有効にします。
	[Disabled]	Wake on LAN 機能を無効にします。
※2	[Disabled]	Wake on RTC を無効にします。
	[By Every Day]	設定した時間に、毎日起動するようになります。
	[By Day of Month]	設定した日時に、毎月起動するようになります。
	[By Sleep Time]	シャットダウン後、設定した時間後に起動するようになります。(5 秒 -255 秒)
	[By OS Utility]	非対応

## 【Exit】メニューの設定

Main	Advanced	Security	Power	Boot	Exit
Exit Saving Changes					※1
Save Changes Without Exit					※2
Exit Discarding Changes					※3
Load Optimal Defaults					※4
Discard Changes					※5

※1: 設定変更を保存し、再起動します。  
※2: 設定先行を保存し、再起動しません。  
※3: 設定変更を保存せずに再起動します。  
※4: 設定を出荷時設定に変更します。  
※5: 現在の設定変更を破棄します。